

# 動作確認チェックシート

検査日	2026年2月16日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	チラー(空冷)	電源電圧	三相200.220V		
型式	FMC55A	周波数	50/60Hz	重量	650kg
メーカー名	オリオン	消費電力	14.4kW	寸法W×D×H	1650×1020×2500
機械Ser.No	K22201039	冷却能力	55.5kw	使用液温度範囲	15~35℃
製造年月	2022年2月	冷媒	R32 :3.6kg		

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	×
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

**備考(動作確認内容・不具合内)** 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 1 水温25℃から設定温度15℃で起動、  
4分で14.8℃に到達。



- 2 起動後、2分でE063(循環ポンプ出力低下)警報



取扱説明書(無)

## 修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力	(備考欄コメント)	[責任者]
動作(NG)	作業工数[ 6 H ]	
検査担当者[ 山下 ]		
ユーザー名[                    ]	出荷日    年    月    日	

- ・ 22-23ポンプインターロックを短絡しないと、  
E037（圧送ポンプインターロック警報）で動きません。

オリオン機械のチラー FCMC55A におけるエラーコード E063 は、一般的に「循環ポンプ用インバータの異常（通信異常または基板故障）」を示しています。

### エラーE063の主な原因と対策

1. **インバータ基板の故障:** 雷サージや経年劣化により、ポンプを駆動するインバータ回路が破損しているケースです。
2. **通信不良:** メイン制御基板とポンプ用インバータ基板の間の配線コネクタに接触不良や断線がある場合に発生します。一度電源を落とし、コネクタの抜き差しで改善するか確認してください。
3. **瞬時停電・電圧ドロップ:** 電源環境の不安定さにより、インバータが保護停止している場合があります。リセット（電源再投入）で復旧するか確認してください。

### 修理・交換費用の目安

前述の通り、部品価格はオープンではありませんが、保守交換の際の参考費用は以下の通りです。

- ・ 部品代（インバータ基板）：約5万～15万円前後（モデルや世代により変動）
- ・ 技術料・出張費：約3万～7万円前後（作業内容や拠点からの距離による）

症状から判断すると、エラー E063 の原因は通信不良ではなく、**インバーター基板本体、あるいはポンプモーターの過負荷（不具合）**である可能性が極めて高いです。

正常機が「30.00Hz（固定）」で安定しているのに対し、故障機が「45.25Hz」などバラつくのは、インバーターが負荷異常を検知して制御が追いついていないか、内部回路の演算異常を起こしている証拠です。

### 現場で確認すべきポイント

1. **ポンプの回転確認:**  
コンプレッサーが動く直前の10秒間に、ポンプから異音（ガラガラ音など）がしていないか、あるいはポンプがロックして回っていないかを確認してください。
2. **インバーターの表示灯:**  
インバーターユニット自体に小さなLED表示がある場合、そこで別のエラー（OC：過電流、OV：過電圧など）が出ていないか確認できれば、故障箇所の特정이早まります。

